広島県商工労働局所管公募型プロポーザル方式等選定委員会（産業振興施策）
（カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務）
議事要旨

広島県商工労働局所管公募型プロポーザル方式等選定委員会（産業振興施策）

カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルについて次のとおり審査した。

1　審査基準に係る審査

（1）　会議の概要

開　催　日　時	令和８年１月２９日（木）
開　催　方　法	持ち回り
出　席　委　員　名	委員長　出射　　太（広島県商工労働局自動車・新産業課長） 委　員　岡崎　俊実（公益財団法人ひろしま産業振興機構　常務理事） 　　畠　　正和（広島県商工労働局環境・エネルギー産業課長） 　　和田　貴博（広島県商工労働局経営革新課担当課長（機動的経済支援）） 　　河村　敏成（広島県環境県民局環境政策課長）
議　　題	カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルの審査基準の審査
担　当　部　署	広島県商工労働局自動車・新産業課　自動車・新産業支援グループ

（2）　議事要旨

令和８年４月 13 日（月）に開催する「カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザル審査会」において、提案者からの提案内容の審査を行う上での基準について協議を実施。

審査の結果、案の通り議決。

2　プロポーザル審査会

（1）　会議の概要

開　催　日　時	令和８年４月 13 日（月）　9：50～11：30
開　催　場　所	県庁東館館７階 商工相談室及び WEB（ZOOM）
開　催　方　法	県庁東館７階商工相談室及び WEB（ZOOM）
出　席　委　員　名	委員長　出射　　太（広島県商工労働局自動車・新産業課長） 委　員　篠田　雅史（公益財団法人ひろしま産業振興機構　常務理事） 畠　　正和（広島県商工労働局環境・エネルギー産業課長） 和田　貴博（広島県商工労働局経営革新課担当課長（機動的経済支援）） 秋山日登美（広島県環境県民局環境政策課長）
応　募　事　業　者 （順不同）	・合同会社デロイトトーマツ ・株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島支社、株式会社電通、株式会社中国新聞社
議　　題	カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルの審査
担　当　部　署	広島県商工労働局自動車・新産業課　自動車・新産業支援グループ

（2）　議事要旨

○　審査基準及び結果等

本県はカーボンニュートラルへ向けたものづくり産業に係る支援に取り組んでおり、令和８年度は「戦略検討」「ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組・モデル化創出実証」「ポータルサイト掲載のコンテンツ作成」「令和９年度以降の運営計画等の策定」を一体的に行う企業支援を実施するという観点から、応募事業者から提出された事業提案書やプレゼンテーションなどの提案内容について、以下の基準（提案者の優位性、業務の実施体制、具体的な企画内容、全体設計）を評価項目とし審査を行った。その審査結果は次表のとおりであり、最優秀提案者として株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島支社、株式会社電通、株式会社中国新聞社を選定した。

各提案者に対する意見	【合同会社デロイトトーマツ】 ・類似業務の受託実績も十分であり、多様なノウハウ・経験を持つ人員配置になっている点や自動車業界等の分析を的確に行った上で工夫ある提案をしている点は評価するものの、実効性の部分で不安があり、目標とする企業数の確保や想定どおりの成果が得られるかについては疑問が残る。 ・自動車産業は縦と横のつながりが深いが、それをつないでサプライチェーン全体を強固にしていく取組が弱い。 ・テーマ設置については時機を得ており効果的と思われるが、ワークショップの参加企業・学生の確保などに関する定量的な記載が弱く、実効性について不安がある。 ・地元大手の金融機関や大学を巻き込むなど、取組の面的な拡大が期待できる手法である点は評価する。一方で、その実効性の確保について、もう少し具体的な論拠などを示していただきたかった。 ・先行事例の創出について、やや具体性に欠けており、事業実施の効果は未知数である。 【株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島支社、株式会社電通、株式会社中国新聞社】 ・これまでの受託実績等から堅実な業務運営が期待できる。また、県内 OEM や主要 Tier１との協力関係を構築し、現時点で新たな支援対象企業を具体的に特定していることからも、ある程度、実効性の担保が図られているものと評価。 ・自動車サプライヤーTier１、Tier２を巻き込み、LCA の観点で CN に取り込もうとしており、また Tier２については単なる CO2 削減ではなく、コスト削減の先に CN があることを理解させていこうとしており、一過性ではなく永続性にもつながる。 ・戦略検討、ワークショップ提案内容など、県内自動車産業の課題を踏まえた的確な提案内容となっており、安定感のある業務実施が期待できる。 ・これまでの実績に基づき、県内 OEM や主要サプライヤーと連携しながら、具体的なプロセスの提示による実効性の高い内容の提案がなされている。 ・ワークショップ等がより具体的に計画されており、企業と連携した集客を図られることから、効果的かつ円滑な事業実施が期待できる。